

常任委員会予算審査

総務・教育民生・産業建設常任委員会は3月9日から15日まで、平成28年度芳賀町一般会計予算及び特別会計予算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、3月17日の本会議において意見を付して予算を認定しました。

総務常任委員会

□書類審査（3月9日、11日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員事務局

□現地調査（3月15日）

八ツ木の丘（光ケーブル増設）、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付、消防団詰所改修（第3分団第4部）、農業者トレーニングセンター調理室・駐車場

□審査の意見または特に留意すべき事項

①公共施設等総合管理計画策定業務が新規に計上されているが、委託先に任せるだけでなく、町の施設利用状況、利用計画をよく加味し進められたい。
②生活バス路線維持費が毎年計上されているが、既存路線バスをスクールバス等として活用し、既存路線バスの利用者増加による補助金削減を検討されたい。



▲審査の様子



▲現地調査

教育民生常任委員会

□書類審査（3月9日、11日）

住民課、健康福祉課、高齢者支援課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（3月15日）

芳賀中学校・町第2体育館、のぶ幼稚園、学童保育なかよしクラブ、総合情報館

□審査の意見または特に留意すべき事項

①社会保障全般を取り巻く社会情勢の変化を受け、平成26年度の制度改正ではサービス利用者の多様なニーズに応ずるため新たな「地域包括ケアシステム」の体制づくりが求められている。現在、町では福祉を担当する部署は健康福祉課と高齢者支援課だが、高齢者が地域で安心して暮らせる支援をするためには「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が一体的に提供できる体制づくりが必要と考えられるので、対応されたい。
②当町では3年で約1億1千万円を補助することになっている芳賀赤十字病院は芳賀郡市唯一の第2次救急医療に対応できる病院である。今後は、がん治療など多くの疾患の治療が芳賀赤十字病院で完結できるよう関係市町と連携して一日も早い開院を促進されたい。



▲審査の様子

産業建設常任委員会

□書類審査（3月11日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（3月15日）

ガスセパレータ、かしの森公園、銭時線、耕作放棄地、再圃場整備、芳賀高校跡地、空き家

□審査の意見または特に留意すべき事項

①調整区域の規制は、芳賀町において人口の流入を困難にする作用と同時に、市街化区域の開発余地の減少と少子高齢化に伴い、ますます人口減少に拍車をかけている。市街化区域の拡張と町づくりの未来予想図、また達成に向けての都市計画マスタープランの作成が急務である。その意味で、北部第2地区の再圃場整備事業は、祖母井市街化区域の将来に向けた計画的な市街化に支障がないよう、線引きを見直したうえで実施しなければならぬ。
②工業団地の拡張と新たな企業誘致により、大学や高校を卒業して地元で職を得ようとする若者に対し、産官学連携により雇用を創出し、特に16〜25才の流出した人口のUターン及び人口の流入を図られたい。
③芳賀町商工会に委託している商業集積地は9年目を迎えているが、地元商工会員の出店者の家賃設定もリーマンショック以前に決定され、10年が経過している。その後の地方経済は疲弊したままであり、出店者の現状に合わず経営を圧迫し、撤退する業者も散見される。今後も維持発展をするために、活性化に向けた改善策を検討されたい。